

○調査結果の概要

1. 貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 198 社

2017 年(暦年)における輸出企業は 157 社(前年 156 社)、輸入企業は 98 社(同 93 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 57 社(同 56 社)で貿易企業は 198 社(同 193 社)となった。

所在地別では、松江市が 58 社と最も多く、続いて出雲市 50 社、浜田市 18 社の順となった。

2. 貿易実績

・島根県の 2017 年貿易額は 3,783 億円

県内企業の 2017 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 3,783 億円(前年 3,049 億円)であり、前年比 24.1%の増加となった。

輸出額 2,612 億円(前年 2,415 億円)に対し、輸入額は 1,171 億円(前年 634 億円)となっており、1,442 億円の輸出超過(前年は 1,782 億円の輸出超過)となった。

(1) 輸出の実績

・輸出額は 2,612 億円、輸出全体の 70.3%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2017 年(暦年)の県内企業の輸出額は 2,612 億円(前年 2,415 億円)であり、対前年比で 8.2%の増加となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 1,838 億円(構成比 70.3%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 468 億円(同 17.9%)となっており、両品目で輸出全体の 88.2%を占めた。地域別では、アジアが 560 億円(同 21.4%)、ヨーロッパが 503 億円(同 19.3%)、北アメリカが 186 億円(同 7.1%)となっており、この三地域で全体の 47.8%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 375 億円(同 14.3%)、アメリカ合衆国が 162 億円(同 6.2%)、韓国が 138 億円(同 5.3%)、中国が 129 億円(同 4.9%)となっている。なお、不明が 1,352 億円(同 51.8%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 536 億円(同 20.5%)、間接輸出が 2,076 億円(構成比 79.5%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 30.2%、次いで関東地域が 12.5%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港 3.1%、浜田港 0.8%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は1,171億円、輸入全体の37.4%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2017年(暦年)の県内企業の輸入額は1,171億円(前年634億円)であり、対前年比で84.8%の増加となった。

輸入を品目別にみると、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が438億円(構成比37.4%)と最も多く、次いで「鉱物性生産品」が343億円(同29.3%)、「卑金属及び同製品」が139億円(同11.8%)となっている。地域別では、アジアが724億円(構成比61.8%)と最も多く、オセアニアが260億円(同22.2%)と続いており、両地域で全体の84.0%を占めている。国別輸入額で見ると中国が527億円(構成比45.0%)、オーストラリアが244億円(同20.8%)、インドネシアが88億円(同7.5%)、アメリカ合衆国が32億円(同2.8%)、韓国が30億円(同2.6%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が497億円(同42.5%)、間接輸入が673億円(同57.5%)となっており、間接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の53.9%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港26.7%、境港5.0%、浜田港3.5%となっている。

3. 海外直接投資及び外国企業との提携

・投資先、提携先ともに中国が最多

海外への投資案件は全体で25社31件となっており、投資先を国別にみると、中国11件、タイ8件、アメリカ合衆国が4件となっており、構成比で見ると中国が35.5%、アジア全体で77.4%を占めている。

形態別では、独資11件、合弁11件、駐在員事務所6件、支店・その他・不明が1件ずつとなっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で39社72件あり、提携先を国別にみると、中国が22件(構成比30.6%)と最も多く、次いでタイが6件となっている。地域別にみると、アジアが57件で79.2%を占め、ヨーロッパが5件で6.9%、北アメリカが4件で5.6%となっている。

形態別では、販売代理店契約36件、技術供与13件、委託加工貿易10件、技術導入2件となっている。